

**TDK株式会社第9回無担保社債
(サステナビリティ・リンク・ボンド)の引受けについて**

今般、みずほ証券株式会社（取締役社長：浜本 吉郎）は、TDK株式会社が発行するサステナビリティ・リンク・ボンド（以下「本サステナビリティ・リンク・ボンド」といいます。）の引受主幹事を務めましたので、お知らせいたします。

TDK株式会社は、「TDK環境ビジョン2035」のなかで「ライフサイクル的視点でのCO2排出原単位を2035年度までに半減」という目標を掲げており、その目標の達成手段となる3つの指標をKPIsとして選定しました。本サステナビリティ・リンク・ボンドで設定したサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（SPTs）は、①2025年度におけるCO2排出量の売上高原単位（単位：t-CO2/億円）を2014年度対比で30%改善すること②2025年におけるCDP気候変動の最終スコアにてA/A-を維持③2025年度における生産拠点を対象とする再生可能エネルギー電力導入率50%を達成としています。

TDK株式会社は、本サステナビリティ・リンク・ボンドを発行するにあたり、第三者評価として、株式会社格付投資情報センターから国際資本市場協会（ICMA）の「サステナビリティ・リンク・ボンド原則（2020年版）」^{※1}に適合している旨のセカンドオピニオンを取得しています。

当社は、社会と〈みずほ〉の持続的な発展に向けて、金融機関として貢献すべき取り組みを積極的に推進しており、資本市場におけるSDGs債の専門的な情報収集・お客様のSDGs債ストラクチャリングを支援するため、2017年にサステナブル・ファイナンス・デスク、2019年にサステナブル・ファイナンス室を設置しました。また、環境金融における専門性を高めるため、グリーンボンドの認証制度および気候変動対策投資を推進する国際NGOであるClimate Bonds Initiative^{※2}とパートナー契約を締結しています。その後2021年から、これらの取り組みをさらに強化・拡大するため、サステナビリティ推進部を新設しています。

これらの取り組みにより、当社はサステナビリティ・リンク・ボンド等の引受けなど、さまざまなお客様のSDGs債の起債を支援し、ストラクチャリングなどを通してお客様の社会貢献への取り組みを全面的に支援しています。

当社は、日本の円建て債券市場でトップティアの取引シェアを確保しています。また、海外市場では、お客様のさまざまなニーズに応えるためのクロスボーダー債券取引を強化し、実績も着実に増加しています。

当社はグループの総合力を活用し、今後もお客様の金融取引を通じた社会貢献への取り組みをサポートし、SDGs債をはじめとする債券の引受けを一層推進し、最高のサービスを提供してまいります。

以上

- ※1 「サステナビリティ・リンク・ボンド原則 (Sustainability-Linked Bond Principles) (2020 年版)」とは、ICMA が 2020 年 6 月に公表したサステナビリティ・リンク・ボンドの商品設計、開示およびレポーティング等にかかるガイドラインをいいます。
- ※2 ロンドンに拠点を置く国際的な組織で、100 兆円の債券市場を気候変動対策のために活用することを目的とし、低炭素・気候耐久経済への迅速な移行のために必要なプロジェクトや資産への投資を促進する活動を行っています。